

市議会だより

# あくね

## 第1回臨時会・第1回定例会

第1回臨時会総括……………2

一般質問……………8

第1回臨時会総括……………15



**NO.183**  
平成27年 5月15日  
編集 / 広報特別委員会  
発行 / 阿久根市議会  
TEL 0996-72-0815  
FAX 0996-72-2029

※今回の議会だよりは、4月26日に行われた市議会議員選挙前の内容になりますので、ご了承ください。

## 平成27年度 一般会計予算

総額

112億2千万円

## 特別会計予算

総額

約 80億9千万円を可決

平成27年第1回阿久根市議会定例会が平成27年2月26日から3月25日の日程で開かれました。

本定例会では、平成26年度補正予算7件、平成27年度当初予算7件、条例については、市長等の給与に関する条例及び教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを含む28件が提案され、いずれも原案のとおり可決されました。

陳情については、「J・A自己改革」に関する陳情書については趣旨採択、「川内原発1・2号機の再稼働に当たって九州電力に住民説明会を求める」陳情については不採択となり、このほか、議員提案により提出された「手話言語法」制定を求める意見書を可決しました。

予算特別委員会では、3月3日、正副委員長との互選を行い、委員長に出口委員、副委員長に竹原委員が互選され、3月11・13・16日に全委員出席のもと審査を行いました。

平成27年度当初予算額及び事業等の内容については、先月発行の「広報あくね4月号」に掲載のとおり、本年度も、様々な補助事業等が行われておりますので、所管課にお問合せのうえ、活用してください。

議会での議論や議会報告会での要望等により予算化された主な事業の一部を紹介します。

### 【新規】

- ・給食センター金属検出機等設置事業  
所管課：学校給食センター
- ・笠山観光農園管理業務  
所管課：商工観光課
- ・与謝野晶子歌碑新設工事  
所管課：生涯学習課
- ・ふるさと納税特産品発送業務  
所管課：商工観光課

### 【継続】

- ・地域づくり活動支援事業  
所管課：企画調整課
- ・有害鳥獣被害対策関係事業  
所管課：農政課・水産林務課
- ・乗合タクシー及びグループタクシー利用促進事業  
所管課：企画調整課
- ・路肩カラー舗装  
所管課：都市建設課



予算特別委員会の状況

## 委員会報告

### ○総務文教委員会

議案第20号 阿久根市いじめ問題対策委員会条例の制定について

**問** 教育委員会が諮問しなければ、いじめ問題対策委員会は、開けないのか。

**答** いじめ問題対策委員会を設置した場合、年に2回は通常的に開催したい。また、保護者・当該者がいじめを訴えてきた場合はその理由のいかにかわららず諮問機関に諮問しなければならないことになっている。

所管課 学校教育課

議案第21号 教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定について

**問** 土曜日の授業が始まるが、事故等が発生する可能性も出てくるが、どのように対処するのか。

**答** 土曜日の勤務対応については、教育委員会としては学校教育課、教育総務課、生涯学習課の一人ずつの勤務を考えている。

所管課 学校教育課

議案第38号、平成26年度阿久根市一般会計補正予算(第9号)

国の地域活性化等の交付金に基づき補正が主であり、総額1億3157万4千円について審査を行い、原案を可決した。

**問** 阿久根市卒業祝い商品券について。

**答** 中学校卒業生一人に対して、図書券を5千円、商品券を5千円支給する。商品券については、阿久根市内だけで使える商品券である。所管課 教育総務課

**問** 移住定住促進補助、定住促進木造住宅建築補助事業、地域支え合い定住支援事業について制度の併用は可能であるのか。

**答** 移住定住促進補助、定住促進木造建築補助、地域支え合い定住支援事業それぞれに該当すれば、3つの制度すべてを併用し、利用することが可能である。所管課 企画調整課

陳情第3号、「川内原発1・2号機の再稼働に当たって九州電力に住民説明会を求める」陳情について

陳情第3号については審査の結果、賛成少数で不採択と決しました。

## ○産業厚生委員会

議案第30号 阿久根市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 番所丘公園のグラウンドゴルフ場について、委員会でも使用料の引き下げの要望をしていたが、具体的な内容は。

**答** グラウンドゴルフ場の使用料をこれまで1ラウンドにつき、小・中・高校生は50円、大人の個人は100円、15人以上の団体で1人につき80円だったものを、2時間を基準として同料金に変更するものである。使用時間が2時間未満の場合は2時間

の使用料とし、さらに使用料の上限を1万円とするものである。所管課 都市建設課

議案第38号 平成26年度 阿久根市一般会計補正予算(第9号)

**問** 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用する事業実施の内容について。

**答** Wi-Fi環境整備業務、地域活性化共同事業業務、観光サイト構築・ふるさと納税サポート業務、観光サイト運用業務、テストマーケティング・情報発信業務について、地方創生先行型交付金を活用し、阿久根ファン創出事業と名付けて実施しようとするものである。また、地方消費喚起型交付金を活用したプレミアム付商品券の発行事業を、プレミアム率を20%にして、2億円発行する。期間は、7月から12月までの6か月間を予定している。

さらに、うに井祭りと伊勢エビ祭りの期間中、アンケートへの回答を条件に割引券を発行する。所管課 商工観光課

**問** プレミアム付き商品券は一人ですべて購入できるのか。

**答** 一人10万円を上限として購入できるようにしたいと考えている。所管課 商工観光課

## 予算特別委員会を

終えて

平成27年度阿久根市当初予算案について、議長を除く15名で予算特別委員会を開催しました。

委員会では、市長及び各担当課長等より説明を受け慎重に審議し、各委員がそれぞれの立場で議論を展開しました。

特に今後は、市民交流センター(現市民会館)及び図書館の建設や、阿久根市、出水市、長島町の2市1町からなる北薩広域行政事務組合のゴミ焼却場の事業など大型事業が控えています。

当初予算については、いずれも可決しましたが、市民福祉の向上や生活環境に寄与することができると、阿久根市の将来像、市民生活の向上、安心・安全を第一に、これからも各事業について、議会が予算執行を市民目線でしっかりと目を光らせて参ります。



予算特別委員長  
出口 徹裕 議員

## 平成27年第1回臨時会 議案及び審議結果

番 号	内 容	結 果
議案第1号	教育委員会の委員の任命について（原田正美氏）	不同意(少数)
議案第2号	教育委員会の委員の任命について（西園敦子氏）	同意(全員)
議案第3号	公平委員会の委員の選任について（鮫島一正氏）	同意(全員)
議案第4号	公平委員会の委員の選任について（中野浩治氏）	同意(多数)

※議案第1号及び第4号については無記名投票のため、議決結果表はありません。

## 平成27年第1回定例会 議案及び審議結果

番 号	内 容	結 果
議案第5号	平成26年度阿久根市一般会計補正予算（第8号）	可 決(多数)
議案第6号	平成26年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決(全員)
議案第7号	平成26年度阿久根市簡易水道特別会計補正予算（第2号）	可 決(全員)
議案第8号	平成26年度阿久根市交通災害共済特別会計補正予算（第1号）	可 決(全員)
議案第9号	平成26年度阿久根市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可 決(全員)
議案第10号	平成26年度阿久根市水道事業会計補正予算（第1号）	可 決(全員)
議案第11号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意(多数)
議案第12号	阿久根市過疎地域自立促進計画（平成22年度～平成27年度）の一部変更について	可 決(全員)
議案第13号	阿久根市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(全員)
議案第14号	阿久根市職員の再任用に関する条例の制定について	可 決(全員)
議案第15号	阿久根市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(全員)
議案第16号	阿久根市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(全員)
議案第17号	市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(多数)
議案第18号	一般職に属する職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(多数)
議案第19号	阿久根市税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(全員)
議案第20号	阿久根市いじめ問題対策委員会条例の制定について	可 決(全員)
議案第21号	教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定について	可 決(全員)
議案第22号	阿久根市保育の実施に関する条例を廃止する条例の制定について	可 決(全員)
議案第23号	阿久根市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の制定について	可 決(全員)
議案第24号	阿久根市子ども発達支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(全員)
議案第25号	阿久根市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(全員)
議案第26号	阿久根市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(全員)
議案第27号	阿久根市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(全員)

番 号	内 容	結 果
議案第28号	阿久根市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	可 決(全員)
議案第29号	阿久根市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定について	可 決(全員)
議案第30号	阿久根市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(全員)
議案第31号	平成27年度阿久根市一般会計予算	可 決(多数)
議案第32号	平成27年度阿久根市国民健康保険特別会計予算	可 決(全員)
議案第33号	平成27年度阿久根市簡易水道特別会計予算	可 決(全員)
議案第34号	平成27年度阿久根市交通災害共済特別会計予算	可 決(全員)
議案第35号	平成27年度阿久根市介護保険特別会計予算	可 決(全員)
議案第36号	平成27年度阿久根市後期高齢者医療特別会計予算	可 決(全員)
議案第37号	平成27年度阿久根市水道事業会計予算	可 決(全員)
議案第38号	平成26年度阿久根市一般会計補正予算(第9号)	可 決(多数)
議案第39号	阿久根市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可 決(全員)
平成26年 陳情第15号	「JA自己改革」に関する陳情書	趣旨採択(全員)
意見書第1号	「手話言語法」制定を求める意見書	可 決(全員)
陳情第3号	「川内原発1・2号機の再稼働に当たって九州電力に住民説明会を求める」陳情	不採択(少数)

## 平成27年第1回定例会 議決結果 (賛否が分かれた案件のみ)

議 案 名	議員名(議席番号順)															議決結果	討 論	
	出口 徹裕	仮屋園 一徳	竹原 恵美	石澤 正彰	松元 薫久	牛之濱 由美	濱崎 國治	野畑 直	大田 重男	牟田 学	岩崎 健二	木下 孝行	鳥飼 光明	山田 勝	中面 幸人			濱之上 大成
平成26年度阿久根市一般会計補正予算(第8号)	◇	◇	◆	◆	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	反対：1 賛成：—
市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◇	◇	◆	欠	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	反対：1 賛成：—
一般職に属する職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◇	◇	◆	欠	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	反対：1 賛成：—
平成27年度阿久根市一般会計予算	◇	◇	◆	欠	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	反対：1 賛成：1
平成26年度阿久根市一般会計補正予算(第9号)	◇	◇	◆	欠	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	可決	反対：1 賛成：—
「川内原発1・2号機の再稼働に当たって九州電力に住民説明会を求める」陳情	◆	◆	◇	欠	◇	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◇	—	不採択	反対：— 賛成：2

※濱之上大成議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。(表の見方)◇は賛成、◆は反対、欠は欠席

## 討論

各議案に対する討論の主な内容は以下の通りです。

○平成26年度一般会計補正予算（第8号）

**反対** 市民交流センターの設計事業者選定の時点の事業費は25億円であったが現在、31・7億円に大幅に増額した。施設の規模は市の将来人口に合っておらず過大であり、見直すべきである。

○市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**反対** 阿久根市民の生活の状況を反映していない。特別職報酬等審議会の議事録も公開されおらず透明性が欠けている。審議会のあり方を議論すべきである。

○一般職に属する職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**反対** 若年層・有資格嘱託職員等の待遇等を検討し、官民格差の是正・人材確保に取り組んでほしい。

○平成27年度一般会計予算

**反対** 市民交流センターの建設事業について、事業費は約32億円に増大、席数は650席と5つの交流室を備え、利用量よりはるかに大きい。現時点で内容を大きく見直し、将来負担を軽減すべきである。

**賛成** 市民交流センターの支出は財政運営に大きな影響がある。実施計画でストッピングし、市民全体で議論すべきである。

○平成27年度阿久根市国民健康保険特別会計予算

**賛成** 大川診療所は年間3800万円を一般会計でほぼ賄うようになっている。利用者は一日平均74人で増加は見込めない。ニーズや環境の変化に合わせた中長期的な計画を立て、民間の病院と協力して阿久根市の医療のあり方、診療所の運営を考えていくことを求める。

○平成26年度阿久根市一般会計補正予算（第9号）

**反対** ① 商工振興としてWiFi環境をにぎわい交流館阿久根駅、道の駅阿久根、番所丘公園、総合体育館に整備するものである。目的の観光客の利用が極端に少ないことが見込まれる。駅や公園の高校生・若年層が利用すると考えられるが、データによるとスマホの利用時間と学力には相関関係があり、マイナスの影響を市民に与える可能性がある。② 中学卒業生への卒業祝い商品券について、1年約200万円かかる。近隣市町では高校生までの医療費無料化を行っており、阿久根の場合、年約400万円が必要である。卒業生に1回1万円を配るより、高校の3年間にわたって医療費に対する

の安心へ振り向けるべきである。

子育てのしやすい環境整備、受益者数、長期的な安心感を考え、政策の立て方から改めて欲しい。以上2つの項目を予算から外して再検討し、他の事業を執行することを求める。

○「川内原発1・2号機の再稼働にあたって九州電力に住民説明会を求め」陳情

**賛成** 総務文教委員会は全会一致で採択に反対であるが、市民の陳情に寄り添った判断をしていない。隠ぺいを繰り返す電力事業者への不信感が高く、阿久根市民が九電の説明を求める事は当然の要求である。説明会自体は原発反対派・推進派の両方にとつて認識を高める機会になるが、それを受け付けないというのは議会が取るべき決定ではない。

## 陳情・意見書

○「手話言語法」制定を求める意見書

**結果** 全会一致で可決

関係省庁へ意見書を提出  
市外住民からの陳情について議員配布後、内容的に理解するところがあるので委員会として意見書の提出として取り上げてもよいのではとの意見によって審議した結果、意見書

を全会一致で採択した。（次ページに全文掲載）

○「JA自己改革」に関する陳情書

**結果** 全会一致で趣旨採択  
JA全中が政府・自民党の農協改革案の受け入れを表明したことを踏まえ、陳情の趣旨は解決したと思われるため、趣旨採択でよいのではないかと意見があり、審査の結果、趣旨採択と決した。

○「川内原発1・2号機の再稼働にあたって九州電力に住民説明会を求め」陳情

**結果** 賛成少数で不採択

**陳情内容** 議会として事業当事者である九州電力に対し、川内原発1・2号機の再稼働に当たって、至近距離に当たる阿久根市で公開の場での住民説明会を求めるもの。

**審査内容** 以前、議会は国に対し阿久根市でも説明会をするように提案し、説明会が開かれた。これ以上の説明会を開く必要はないとの意見。

原発は危険だとわかつている苦渋の決断をしていることから継続審査との意見。陳情内容が避難計画等で事業者である九電も含めた危難経路等の説明であればまた審議すべき等の意見があり、採決の結果、賛成少数によって不採択となった。

## 「手話言語法」制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体の動きや顔の表情を使う独自の語彙（ごい）や文法体系をもつ言語であり、手話を使う人にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、情報の獲得とコミュニケーションの手段として重要な役割を担ってきた。

2006年12月に国連総会において採択された障害者権利条約には、言語とは、音声言語及び手話その他の形態の非音声言語をいうと定義され、「手話は言語」であることが明記されており、国内では、2011年8月に成立した「改正障害者基本法」第3条第3項において、「全ての障がい者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保されるとともに、情報の取得又は利用のための手段についての選択の機会の拡大が図られること」と定められ、同法第22条では、国・地方公共団体に対し、情報取得や他人との意思疎通を図ることができるよう、施設の整備、障がい者の意思疎通を仲介する者の養成及び派遣等が図られるよう必要な施策を講じなければならないとされている。

よって阿久根市議会は、国において下記事項の実現について強く求めるものである。

### 記

手話が音声言語と対等な言語であると国民に周知し、手話を必要とする人が、手話を身につけ、手話で学び、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を制定すること。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年 2月26日

鹿児島県阿久根市議会

## 議員定数等に関する

### 調査特別委員会を終えて

平成26年9月24日、11月12日、平成27年1月30日、全員出席のもと、1月19日には区長会連絡協議会の役員との意見交換会を行いながら審査した結果、現在の議員定数16人が望ましいとの意見が多数、2人減らして14人という意見が少数であったことを、平成27年2月26日の市議会本会議に報告しました。

## 審査の経緯

### ○平成26年9月24日開催

正副委員長を選任し、特別委員会の日程等を委員長に一任しました。

### ○平成26年11月12日開催

本市の議員定数等に関するこれまでの経緯や他市の議員定数の状況等の資料及び議員定数検討委員会の設置を求める陳情書等も参考にし、今後の審査の進め方について協議を行い、主な意見は次のとおりでした。

- ・ 過去区長会から陳情が出されたこともあり、区長会との意見交換会の場を設けるべきとの意見。
- ・ 議員定数について議会は何も議論していないとの意見があり、議論していることが市民に伝わっていないので、特別委員会を設置して議論した方がよいなどの意見があ

りました。

## 区長会との意見交換会

### 区長会役員の主な意見

### 平成27年1月19日開催

- ・ 人口が似たような他市と比較してみると現在の16人が妥当である。
- ・ 議員が1人もいない地区がある。1人は必要と思うが、一部では14人との意見の人がいる。
- ・ 仮に議員を減らしたら弊害が出てくるのではないかと思う。
- ・ 議員が近くにいないのは弊害だと思ふ。増やすことも考える必要も。

## 審査の結果

- ・ 市議会議員選挙も近づいており、委員会として一定の結論を出す必要があるとの意見があり、区長会との意見交換会の内容を踏まえ、全委員の意見表明で、現在の定数16人が望ましいが10名、2人減の14人が3名、何人減するか不明1名との結果でした。



議員定数等に関する  
調査特別委員長  
濱崎 國治 議員

より良い市政を目指して

# 一般質問

— 市政を問う —

平成27年第1回定例会では、13名の議員が一般質問を行いました。

### 【質問者】

(質問順)

- ① 石澤 正彰 議員
- ② 野畑 直 議員
- ③ 大田 重男 議員
- ④ 牛之濱由美 議員
- ⑤ 中面 幸人 議員
- ⑥ 山田 勝 議員
- ⑦ 木下 孝行 議員
- ⑧ 牟田 学 議員
- ⑨ 出口 徹裕 議員
- ⑩ 濱崎 國治 議員
- ⑪ 竹原 恵美 議員
- ⑫ 松元 薫久 議員
- ⑬ 仮屋園一徳 議員

## 問 学校給食センターでの 金属検出機設置の進捗状況について

**答** 食材納入業者の理解も得て、  
平成27年度の予算組をした

**石澤** 金属検出機の設置について進捗状況は。

**市長** これまでの経緯を踏まえ、教育委員会において自主検査のための検査室と金属検出機等の設置を決定したことを受け、平成27年度当初予算の編成にあたり、検査室の設置及び金属検出機の経費を計上し、27年度のできるだけ早い時期の設置を目指していきたいと考えている。

**教育長職務代行者** 金属検出機設置について、食材納入業者との意見交換会等で検討を重ね、自主検査のため学校給食センターに検査室と金属検出機設置の要望があり、教育委員会で報告、導入を決定し、予算に計上した。

### 食材検査開始時期について

**石澤** 納入食材検査はいつから行われる予定か。

**教育長職務代行者** 設計業務ののちに工事を行うこと、また、食材納入業者との協議に期間が必要なことから平成27年9月からの実施を目指している。

その他異物混入防止対策について

**石澤** 金属片以外の異物混入防止対策については万全か。

**教育長職務代行者** 昨年度、阿久根市学校給食異物混入対応マニュアルの見直しを行い、食材搬入時検収段階、調理配送段階、配送後の段階、ごとに対策を図っており、給食センターでは主に、各段階で複数による目視の強化、食材を小分けにした検収をする等様々な取り組みを行っているところである。

**石澤** 2年がかりで金属検出機を設置していただけることになり、提案していた者として心から良かったと思う。今後も子供の食の安全を守っていただきたいと要望する。



石澤 正彰 議員

## 問 地方創生の取り組みについて

**答** 平成27年度中に阿久根市版の総合戦略を策定する

**野畑** 現時点でのアイデアは。

**市長** プレミアム付き商品券発行事業・地域支え合い定住支援事業・無料公衆無線LANの設置・地方版総合戦略の策定等を考えている。

**野畑** 出水市、長島町と連携して阿久根北インターチェンジ付近に物産館をオープンする考えはないか。

**市長** 交通の要所になる地域だと思う。旧港付近や大川地区にも物産館を設置して欲しいとの要望もあるのので、今後、調査研究したい。



開通した阿久根北インターチェンジ

### 自立支援教室の設置について

**野畑** 市内の小・中学校で、学校に登校していない生徒数を把握しているか。

**教育長職務代行者** 病気以外の理由

で年間30日以上欠席している生徒が小学生で4名、中学生で18名である。

**野畑** 2月20日、川崎市で大変悲惨な事件があったばかりである。登校できない子供たちのために自立支援教室の設置はできないか。

**市長** 施設の設置は大きな予算を伴うので、今すぐ設置するとは言えない。今後とも継続して調査したい。

**野畑** 登校できない子どもたちの心情に詳しい方々は設置を望んでいる。出水市・薩摩川内市・さつま町ではすでに設置されているので阿久根市でもできるだけ早く自立支援教室を設置していただきたい。

**その他の質問**  
・中山間地域総合整備事業について



野畑 直 議員

## 問 旧国民宿舎の運営について

**答** 平成27年度において方針を決定し  
手続を進める

**大田** 旧国民宿舎の売り上げ状況はいくらになっているか。

**市長** 平成21年度が約3億4752万円、平成22年度が約3億3236万円、平成23年度が約3億1038万円、平成24年度が約3億1940万円、平成25年度が約2億7184万円となっている。

**大田** 現事業者との契約が27年度末で終了する。平成27年度中には市の方針を示す必要があるが、日程も含めどのように考えているか。

**市長** 平成26年度中に旧国民宿舎施設活用検討会議の提言をいただいた内容を踏まえ、それを参考にしながら平成27年度において、市の方針を決定したいと考えている。

その方針に基づき、現事業者との協議も並行して行い、庁内会議を重ねながら具体的な手続を進めて参りたい。

### 交流人口増加対策について

**大田** 阿久根市の観光地として、高突山の登山道を阿久根市山好会が独自に整備しているが、阿久根市とし

て今後、整備・管理を何らかの方法で出来ないか。

**市長** この登山道は約2キロメートルあり、山好会の方々がボランティア募集を行いながら整備・管理をしていると聞いている。

以前、登山道沿線に自生しているエビネ蘭が盗掘されているのとこのとで、盗難防止のための看板を設置していただいた経緯もある。登山道の現地調査を行い、山好会の方々の意見や現状を把握したうえで、どのような整備、管理が必要であるか、山林の所有者等の承諾も得ながら前向きに検討して参りたいと考えている。



大田 重男 議員

## 問 自主防災組織について

**答** 地域防災リーダー養成研修への参加も  
お願いをしていきたい

**牛之濱** 自主防災組織の現在までの組織数と、立上げ困難区の課題と今後の対応は。

**市長** 現時点で61区、59組織が設置され23年度以降10区の増で、現80%の組織率である。区の高齢化も考えられるが、防災知識をもつリーダーを育てることも必要である。

**牛之濱** 避難時における要援護者への支援として「支え合いマップ」の活用も必要では。

**市長** 必要であると思う。マップ作りに関しては今年度中には全区作成が完了の予定であり、今後も社会福祉協議会や行政とともに連携し、またリーダー研修等への参加や、避難訓練等参加を呼びかけ、防災組織の充実を図っていききたい。

### AED設置と普通救命講習の普及活動について

**牛之濱** 市内のAEDの設置状況は。

**市長** 市内全小・中学校、公的機関で25施設25台であり、みなみ保育園への配置も行っている。

**牛之濱** 普通救命講習の普及活動に

伴い市職員の講習終了者も増やす努力もしていただけないか。

**市長** 職員については、市内におけるイベント等への出席が多い事もあり、今後随時講習を計画していく。



講習を受ける女性消防団



牛之濱 由美 議員

## 問

農林漁業者の所得向上と、所得安定を目的とした「地方創生」への戦略としての取り組みは

答 本市の競争力をより発揮できる部分に重点を置いた戦略を策定していく



中面 幸人 議員

**中面** 農業従事者の高齢化、後継者問題等の課題を抱えている中、ここ4、5年の間に農業政策の方向性を示す必要がある、各農家が組織に入り、農作業の共同化・機械の共同利用等共同で運営していく、集落営農組合のような組織作りを検討してはどうか。

**市長** 本市では一組合が、農業生産について協議を図り、それにより生産性を向上させ、組合員の共同利益を増進することを目的とした施策を実行中であるが、農業政策としての位置づけは高い。

**中面** 農業の衰退防止と生産性向上のためには、各戸農家単位の運営では限界があり、今後は集落単位で組織化により、農業を守っていくという方向性を導くべきである。

## CAS（キャス）冷凍について

**中面** CAS冷凍とは、冷凍する素材の細胞膜を壊すことなく、うま味成分を閉じ込めたまま凍結する方法で、冷凍前の新鮮な状態に戻せる。農林水産物の相場の低い時に、良いものを冷凍機能で保存しておき、良い時期に出荷し、所得の安定につなげていく取り組みを検討してはどうか。

**市長** 冷凍に要する経費と相場との比較、投資の効果等の検討も大事であり、JA・漁協等が受けて行政が側面的な協力をしていく考えはある。

**中面** 本市の一次産業の所得の向上と安定のために、このCAS冷凍機能を活かす取り組みを今回の地方創生の戦略に組み込んでほしい。

## その他の質問

- 「地方創生人材支援制度」を利用した国からの人材派遣は考えないか。
- 都市部からの企業の地方移転促進の取り組みを考えてはどうか。

## 問

旧阿久根高校跡地を利用した阿久根市創生の取り組みについて

答 現時点で具体的な計画については有していない

**山田** 阿久根高校跡地を利用した阿久根市の創生の取り組みについて何か計画があるのか。

**市長** 県の方針として「地域の活性化や施設の有効活用のため、地元の意向を最大限に尊重すること」との立場だが、現時点において、市として具体的な利用計画を有するに至っていない状況である。

**山田** これから団塊の世代が介護の対象になる時代を迎えているが、民間の提案を受け入れた「福祉人材養成所設置構想」について前向きに取り組む考えはないか。

**市長** いろいろな提案があるが、今後、阿久根高校跡地に関する検討会を設置するための予算を計上し跡地

活用の検討をしていきたい。

4年間の阿久根市政に対する県議の関わりについて

**山田** 市議員は身近でその活動が住民に伝わり評価されるが、それに比べ、地区選出の県議員の活動はなかなか伝わってこない。4年間の阿久根市政に対する県議の力添えは。

**市長** これまで鹿兒島県の抱える諸課題の解決に尽力され、特に南九州西回り自動車道の早期完成に向けては県・国などの関係機関に対し強力な働きかけをしていただいた。

## その他の質問

- 市長選挙結果について



活用が期待される阿久根高校跡地



山田 勝 議員

## 問

「笑顔あふれる阿久根市まち・ひと・しごと」創生本部について

答 市民が笑顔で安心して暮らせる地方創生に全力で取り組んでいく



木下 孝行 議員

**木下** 平成27年度から国が進める地方創生に向け、市長は市民協働元年と位置づけ、夢のまちあくねの実現に全力で取り組むとしているが、創生本部の体制と役割、活動について。  
**市長** 創生本部は、私を本部長、副市長・教育長を副本部長とし、すべての課長と事務局長、消防参事を委員とし、少子高齢化の進展に的確に対応し、安心して笑顔で暮らせる持続的な社会を形成し、地域を担う多様な人材と魅力ある多様な就業の機会の創出を推進することとしている。また、今後、人口の現状と将来展望を提示した人口ビジョンを策定し、今後5カ年の目標や施策の基本的方向、具体的施策をまとめた「地方版総合戦略」を27年秋頃を目途に、住民や関係団体等の意見や提言をうかがいながら策定し、戦略に基づく施策を進めて行きたい。

## 問

阿久根駅舎の委託業務変更の経緯と今後の運営について

答 阿久根市美しい海のまちづくり公社を候補予定者としている

**牟田** 阿久根駅舎の委託業務の変更経緯と今後の運営について。

**市長** 現状では、肥薩おれんじ鉄道支援という当初の目的が、達成されないばかりか、かえって負担になることが、懸念されることから指定管理の取り消しもやむをえないと考えている。

今後の運営については、利用者の不便とならないようにすることを第一に考え、中断することなく公的な法人である、阿久根市美しい海のまちづくり公社を候補予定者として決定し公社に対して事業計画の策定を依頼したところである。



指定管理の変更が予定されている阿久根駅

市民交流センター事業費増額の原因について



牟田 学 議員

**牟田** 市民交流センターの事業費の増額の原因について、増額されたことにより設計変更はあるのか。

**市長** 今後の財政需要を踏まえた財政運営等を考慮して、事業費の縮減ができないか検討している。

**牟田** 設計変更をしてコスト削減をする考えはないか。

**市長** 計画した施設の機能を損なわないよう全体的に縮減を検討した。

浜町河畔線局部改良の進捗状況について

**牟田** 浜町河畔線局部改良の進捗状況と今後の計画について。

**市長** 今年度中の用地取得が、難しいところであり、用地取得の完了により速やかに測量、設計を行い、工事に着手を予定している。

### その他の質問

- ・西回り自動車道の牛之浜地区に情報発信基地を兼ね備えた道の駅の整備について
- ・旧国民宿舎施設の今後の展望と民間活力利用について
- ・少子化子育て対策として、現在の15歳以下の医療費助成を18歳以下に拡充できないか。

**問** 市が一括して防犯灯のLED化及び維持管理を行うエスコ事業はできないか

**答** 考えてもよいと思うところがある。



出口 徹裕 議員

**出口** 各区の運営も厳しくなるなか、防犯灯のLED化や補助は多くの区の願いであるが、今後の取り組みについて。

**市長** 阿久根市には、各区設置の防犯灯が1485基、市防犯組合連絡協議会設置の防犯灯が25基ある。

協議会を通じて防犯灯の設置や取替え等をする場合、補助金を交付している。また、維持管理費として電気代の約20%の補助も行っている。

防犯灯のLED化については、協議会において平成27年度から補助金を新設することを検討している。

**出口** 他市において、負担軽減策として実施している、市がLED化及び維持管理を一括して委託するESCO（エスコ）事業について、取り組む考えはないか。

**問** 寺島宗則卿や河南源兵衛翁の銅像建立の計画は

**答** 建立費用や設置場所等の課題もあり検討する

**濱崎** 本市の偉人である寺島宗則卿の足跡をたどる青少年の英国留学が本年度実施される。広く日本や世界を舞台に活躍した寺島宗則卿の功績をすばらしいものがある。青少年教育のためにも銅像の建立に取り組む考えはないか。また、薩摩藩貿易商として活躍した河南源兵衛翁の銅像の建立への取り組みは。

**市長** 薩摩藩英国留学生派遣150周年を記念して寺島宗則卿の銅像や河南源兵衛翁銅像の建立については、関係機関や団体等の意見を聴き調査研究を進め、建立費用や設置場所等を考慮しながら検討したい。

**濱崎** 黒之瀬戸が詠まれている万葉集の歌碑建立の予算が過去に計上されたが執行されなかった。建立される考えはないか。

**市長** 平成20年度に予算計上したこともあり、28年度以降に再度計画したい。

**地域の安心・安全対策の今後の取り組みについて**

**濱崎** 大災害や重大事故時の避難体

制を確立するためにも市全体の防犯灯を鋼管柱やLED照明へ整備する考えはないか。

**市長** 国の補助金や有利な補助金を見出し、積極的な管理運営に関して各区を支援したい。



新しくなったLED防犯灯

**その他の質問**  
阿久根高校跡地に福祉関連施設及び人材養成の専門学校の誘致はできないか。



濱崎 國治 議員

## 問

阿久根駅の運営からおれんじ鉄道が撤退する理由は何か

答 期待に対して、業務継続による負担拡大の懸念が示されたためである

**竹原** 観光の拠点、おれんじ鉄道への支援として改築した阿久根駅であるが、その成果が出ていると考えているのか。駅の運営からおれんじ鉄道が撤退する理由は何であったか。

**市長** 駅でのイベント等で来場者が増えて成果は出ている。阿久根駅への期待に対して、業務継続による負担拡大の懸念から撤退となった。

**竹原** 平成27年度の阿久根駅運営にかかる予算はいくらか。のぼり旗の掲示などの制約はどのような考えから来ているのか。

**市長** 年間約1134万円である。駅の調度品を含めて駅舎そのものが芸術作品であると捉え、デザイン性を維持するためにデザイナーの意向を確認している。

## 多くの巨額な事業計画について

**竹原** 阿久根駅、市街地の再生整備計画、市民交流センター新築、寺山住宅新築などや新築されるゴミ焼却処分場の阿久根市負担額約18億円など、同時期に多くの事業費とその運営費が必要であるが、事業の取捨

選択や優先順位付けが必要ではないか。

**市長** それぞれの事業は要望があったものであり、今の時期に実施せざるを得ない。新年度予算編成においてはむだを徹底して排除し、有利な補助金の活用を図っている。

**竹原** 健全な財政運営のためには住民が求めればそのままを作るといった姿勢ではいけないのではないかと施設建設計画とともに住民税・固定資産税の増額の計画はあるか。

**市長** 縮小することで市民が本来望まない施設を作るとそれが本当のむだな施設になる。中長期的な財政運営の健全化を考えていく。財源の捻出としては結果的に市民にお願いすることになると考えている。



竹原 恵美 議員

## 問

民間給与との均衡を職員給与に反映すべき

答 人事院勧告に重きを置くべきと考える

原子力災害対策について

**松元** 現状の避難計画には課題が多く残されているが、その実効性をどこがチェックするのか。

**市長** 思い当たる機関はない。阿久根市の土地柄にあった実効性のある計画を作っていくたい。

**松元** 病院、福祉施設等の要援護者の避難計画作成の進捗状況はどうなっているか。

**健康増進課長** 県の指導を仰ぎながら作成中である。

**松元** 阿久根市は同意権もないままに避難計画作成を求められ、避難経路となる西回り自動車道も全てつながっていない状況で再稼働が進められるのは順番が違うと思うがどうか。

**市長** 西回り自動車道については、今年の1月に麻生財務大臣に、避難道路として細かく説明した事で、一括事業化となった。



松元 薫久 議員

**松元** 今回提案の給与削減案について市長の考えを聞きたい。

**市長** 本市の給与レベルは全国でも最も低いクラスに位置しており、地域経済を初め、多方面に必ずしも良い影響ばかりではなく、人材確保の面からも、適正な額の給与が必要なことから、削減幅を圧縮した。

**松元** 国税庁が出している民間給与の推移と、人事院勧告を比較すると、一致せず実態を捉えていないがどう思うか。

**市長** 参考にする現状が必ずしも世論の全てを反映しているとは感じないが、判断が難しい。

**松元** 市民の納得は得られないと思う。今後も職員の方たちには削減を受け入れてもらわないといけないと思う。

## その他の質問

・まちづくりについて

# 問 若者向け低賃貸住宅の提供の施策について

## 答 安価な住宅提供に取り組んでいる

**仮屋園** 若者向け低賃貸住宅を提供する施策として、家賃が高く家計を圧迫している若年家庭のため、市営住宅のトイレ水洗化など整備を急ぐ考えはないか。また、空き家が増加しているが、空き家を改修し、低の家賃で貸し出す支援策や空き家を調査把握し情報提供する考えはないかお伺いしたい。

**市長** 市営住宅の水洗化整備率は45%であるが、残りの住宅は老朽化が激しく設備の更新が進められない現状である。子育て世代の市営住宅等の提供の必要性についても、市民からの声として承知している。新たな住宅整備として、寺山住宅事業など、近年のライフスタイルに対応した、子育て世代はもとより、すべての世代に見合った住環境の整備に取り組んでいる。

空き家を利用しての低家賃での貸家提供については、今後調査し、情報提供したい。

小・中学校の統合について議論の時期と思うがどうか

**仮屋園** 小・中学校の統廃合について少子化により、年々生徒数が減少する中、学校の統合は、地域、子供の将来を大きく左右することから今から議論をすべきと思うがどうか。

**市長** 統廃合を検討する上では、子供にとつて望ましい教育環境はどうあるべきか、児童生徒のことを第一に考えて検討することが最も重要であり、それと共に住民の理解・協力が重要になる。従って、市としての方針を一方的に押し付けるのではなく、保護者や地域の方々と一緒に考えて、問題解決の方法について一定の基準を持った上で教育的観点から議論していくことが望ましいと考えている。学校の今後の在り方について議論を十分に行いながら方向づけを行っていく。



仮屋園 一徳 議員

# 第1回臨時会

平成27年1月30日に臨時会を開き、市長の所信表明ほか、教育委員会、公平委員会の人事案件の4件が議案として審議されました。

西平市長は2期目の所信表明として、「つながらる・育む・その先へ」のキーワードを示し、さまざまな課題に対し、市民が互いに手と手を取り合い、努力と創意工夫の中から、多様な価値観に彩られたまちづくりへの決意を述べたほか、議会や市民と向き合い、真剣な議論を通して課題の解決に取り組み、阿久根を思う気持ちと共有していく姿勢は変えず、笑顔あふれる夢のまちづくりに全力を尽くす覚悟を述べた。

教育委員の任命については、一件が不同意、一件は同意された。不同意の理由として、60年ぶりに教育委員会制度が改正され、教育に関する多くの課題がある中、教育長の若返りも必要ではないか。もう一度提案し直すべきとの反対討論があり、採決の結果、賛成少数で不同意となりました。

他の3件の人事案件につきましては同意されました。

## 【人事案件】

- ◎教育委員会委員の任命  
原田 正美 氏（不同意）  
西園 敦子 氏（同意）
- ◎公平委員会委員の選任  
鮫島 一正 氏（同意）  
中野 浩治 氏（同意）

## ○議会のうごき

3月	2月	1月
3日 議会広報委員会	4日 議会広報特別委員会 12日 産業厚生委員会 19日 認知症サポーター養成講座各議員受講 26日 第1回定例会 (3月25日まで)	19日 議員定数等に関する調査特別委員会 21日 産業厚生委員会 27日 出水地区市町議会議員研修会 28日 小規模市の地域戦略を考える地方議会ネットワーク議長会定期総会 30日 第1回臨時議会 議員定数等に関する調査特別委員会

## 認知症サポーター養成講座を各議員が受講

平成27年2月19日議員研修として、市包括支援センターの協力により、認知症サポーター養成講座を受講しました。

この講座は、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になつてもらい、自分のできる範囲で活動していただくことを目的として、平成17年度に厚生労働省が開始した「認知症を知り地域を作る10か年キャンペーン」の一環として100万人養成することを目標に各市町村で取り組まれ、平成26年度には400万人の方が全国で講座を受講しています。



認知症サポーター養成講座の様子

※ 議会だより、議会傍聴に関するお問い合わせは、市議会事務局まで。

TEL (七二) 〇八一五  
FAX (七二) 二〇二九

## 議会を傍聴してみませんか。

市議会は、市長と同じく選挙によって選ばれた議員が、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。

学校の社会科見学やPTA、各種団体等の研修でも傍聴できます。

- 本会議はだれでも傍聴できます。
- 傍聴の際は、傍聴席入口にある受付簿に住所、氏名を記入してください。
- 傍聴席の場所は議場裏の階段を上がり、4階になります。

☆「生中継」もご利用ください。

本会議開会中は、市のホームページから議会の様子が生中継で見ることができます。

☆録画中継も配信中！

※現在録画中継についてはホームページのリニューアルに伴い作業をしており順次配信予定です。



## 編集後記

この「市議会だより」が発行される頃は、新しい16名の議員が誕生し、新たな議会活動が始まっていると思います。初めて議員に当選した時を思い出しながら、広報委員として最後の編集後記を執筆しています。

「議会活動が伝わりにくい」「議会活動が市民に理解されていない」などの解消を図るため、議会活動をわかりやすく、また、読んでもらえるような魅力ある「市議会だより」の紙面づくりに心がけてきました。「読みやすくなったね」との声を聴いた時、次の紙面づくりもひと工夫との思いにさせられます。

これからも「読みたくなる市議会だより」にご期待下さい。

(委員 濱崎 国治)

発行責任者

議長 濱之上 大成

議会広報特別委員会

委員長 出口 徹裕

副委員長 竹原 恵美

委員 松元 一徳

委員 牛之濱 由久

委員 濱崎 國治

委員 濱崎 國治